

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年10月25日

出願番号

Application Number:

特願2000-326116

出願人

Applicant(s):

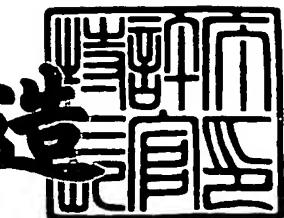
ソニー株式会社



特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

2001年 8月31日

及川耕造



出証番号 出証特2001-3077605

【書類名】 特許願
【整理番号】 0000245711
【提出日】 平成12年10月25日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H04N 1/32
【発明者】
【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内
【氏名】 石井 美留香
【特許出願人】
【識別番号】 000002185
【氏名又は名称】 ソニー株式会社
【代表者】 出井 伸之
【代理人】
【識別番号】 100067736
【弁理士】
【氏名又は名称】 小池 晃
【選任した代理人】
【識別番号】 100086335
【弁理士】
【氏名又は名称】 田村 榮一
【選任した代理人】
【識別番号】 100096677
【弁理士】
【氏名又は名称】 伊賀 誠司
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 019530
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9707387
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ送受信システム及びデータ送受信方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者が第1のコンテンツと共にこの第1のコンテンツの情報提供者識別データを送信する第1の端末装置と、

上記第1の端末装置から送信された上記第1のコンテンツと情報提供者識別データとを受信し、記憶手段に記憶するサーバ装置と、

上記第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関連する関連データを上記サーバ装置よりダウンロードし、この関連データを表示手段に表示すると共に、この表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択し、選択した情報提供者情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記サーバ装置に送信する第2の端末装置とを備え、

上記サーバ装置は、上記第2の端末装置より上記情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、上記第1の端末装置に上記リクエストデータを送信し、

上記第1の端末装置は、上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを上記サーバ装置に送信し、

上記サーバ装置は、上記利用者識別データに基づいて上記第2のコンテンツを第2の端末装置に送信することを特徴とするデータ送受信システム。

【請求項2】 上記サーバ装置は、上記第1の端末装置より第1のコンテンツが送信されたとき、上記第2の端末装置に送信可能にする第1のコンテンツを選択することを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項3】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項4】 上記第2の端末装置は、作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項3記載のデータ送受信システム。

【請求項5】 上記サーバ装置は、上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信することを特徴とする請求項4記載のデータ送受信システム。

【請求項6】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項7】 上記第2の端末装置は、楽曲データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項6記載のデータ送受信システム。

【請求項8】 上記サーバ装置は、上記リクエストデータに基づいて制作された更なる楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信することを特徴とする請求項7記載のデータ送受信システム。

【請求項9】 上記サーバ装置は、上記第2の端末装置によって選択された情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを送信し、上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、この同意データを上記第2の端末装置に送信することを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項10】 上記第1の端末装置は、上記サーバ装置に情報提供者の口座識別データを送信し、上記第2の端末装置は、上記サーバ装置に利用者の口座識別データを送信し、上記サーバ装置は、それぞれの口座データの更新を行うことを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項11】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項12】 上記依頼料金データは、依頼件数が多くなるに連れて高く設定されることを特徴とする請求項11記載のデータ送受信システム。

【請求項13】 上記サーバ装置は、所定期間を経過しても第1の端末装置から第2のコンテンツが送信されないとき、督促データを上記第1の端末装置に送信することを特徴とする請求項1記載のデータ送受信システム。

【請求項14】 情報提供者が第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情

報提供者識別データを第1の端末装置よりサーバ装置に送信するステップと、

上記第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データを上記サーバ装置の記憶手段に記憶するステップと、

第2の端末装置が上記サーバ装置より第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを上記サーバ装置からダウンロードし、表示手段に表示するステップと、

上記第2の端末装置の表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択し、この選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記サーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置が上記第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、上記第1の端末装置に上記リクエストデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置が上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを上記サーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置が上記利用者識別データに基づいて上記第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するステップとを有するデータ送受信方法。

【請求項15】 上記サーバ装置が上記第1の端末装置より第1のコンテンツを受信したとき、上記サーバ装置が上記第2の端末装置に送信可能にする第1のコンテンツを選択するステップを有することを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項16】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項17】 上記第2の端末装置が作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項16記載のデータ送受信方法。

【請求項18】 上記サーバ装置が上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するステップを有す

ることを特徴とする請求項17記載のデータ送受信方法。

【請求項19】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項20】 上記第2の端末装置が楽曲データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項19記載のデータ送受信方法。

【請求項21】 上記サーバ装置が上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項20記載のデータ送受信方法。

【請求項22】 上記サーバ装置が上記第2の端末装置によって選択された情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置が、同意するとき、同意データをサーバ装置に送信するステップと、

上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、サーバ装置がこの同意データを上記第2の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項23】 上記第1の端末装置が、上記サーバ装置に情報提供者の口座識別データを送信するステップと、

上記第2の端末装置が、上記サーバ装置に利用者の口座識別データが送信するステップと、

上記サーバ装置が、それぞれの口座データの更新を行うステップとを有することを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項24】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項25】 上記依頼料金データは、依頼件数が多くなるに連れて高く設定されることを特徴とする請求項24記載のデータ送受信方法。

【請求項26】 上記サーバ装置は、所定期間を経過しても第1の端末装置から第2のコンテンツが送信されないとき、督促データを上記第1の端末装置に送

信するステップを有することを特徴とする請求項14記載のデータ送受信方法。

【請求項27】 第1のコンテンツを提供する情報提供者の第1の端末装置と情報提供者に第2のコンテンツの制作依頼を行う第2の端末装置と送受信を行うための送受信手段と、

上記第1の端末装置から送信された上記第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを記憶する記憶手段と、

全体の動作を制御する制御手段とを備え、

上記制御手段は、上記第2の端末装置からアクセスされたとき、上記第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを送信し、

上記第2の端末装置から、関連データの中から少なくとも1つ選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを受信し、

上記情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、上記第1の端末装置に上記リクエストデータを送信し、

上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを第1の端末装置より受信したとき、上記利用者識別データに基づいて上記第2のコンテンツを第2の端末装置に送信することを特徴とするサーバ装置。

【請求項28】 上記制御手段は、上記第1の端末装置より第1のコンテンツが送信されたとき、上記第2の端末装置に送信可能にする第1のコンテンツを選択することを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項29】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項30】 上記制御手段は、第1の端末装置からの第1のコンテンツを、作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群に分類し、上記第2の端末装置からこれらのデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信することを特徴とする請求項29記載のサーバ装置。

【請求項31】 上記制御手段は、上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信することを特徴とす

る請求項30記載のサーバ装置。

【請求項32】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項33】 上記制御手段は、第1の端末装置からの第1のコンテンツを楽曲データ群に分類し、上記第2の端末装置からデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信することを特徴とする請求項32記載のサーバ装置。

【請求項34】 上記制御手段は、上記リクエストデータに基づいて制作された更なる楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信することを特徴とする請求項33記載のサーバ装置。

【請求項35】 上記制御手段は、上記第2の端末装置によって選択された情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを送信し、上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、この同意データを上記第2の端末装置に送信することを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項36】 上記制御手段は、第1の端末装置から送信された情報提供者の口座識別データと上記第2の端末装置から送信された利用者の口座識別データとを上記記憶手段に記憶し、それぞれの口座データの更新を行うことを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項37】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項38】 上記制御手段は、上記依頼料金データを、依頼件数が多くなるに連れて高く設定することを特徴とする請求項37記載のサーバ装置。

【請求項39】 上記制御手段は、所定期間を経過しても第1の端末装置から第2のコンテンツが送信されないとき、督促データを上記第1の端末装置に送信することを特徴とする請求項27記載のサーバ装置。

【請求項40】 情報提供者が第1の端末装置より送信した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを受信するステップと、

上記第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データ

を記憶手段に記憶するステップと、

第2の端末装置よりアクセスされたとき、上記第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを上記第2の端末装置に送信するステップと、

上記情報提供者が選択した情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記第2の端末装置より受信するステップと、

上記第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、上記第1の端末装置に上記リクエストデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置より上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するステップと、

上記利用者識別データに基づいて上記第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するステップとを有するサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項41】 上記第1の端末装置より第1のコンテンツを受信したとき、上記第2の端末装置に送信可能にする第1のコンテンツを選択するステップを有することを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項42】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項43】 上記第1の端末装置からの第1のコンテンツを、作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群に分類するステップと、

上記第2の端末装置からこれらのデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信するステップとを有することを特徴とする請求項42記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項44】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項43記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項45】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項46】 第1の端末装置からの第1のコンテンツを楽曲データ群に分類するステップと、

上記第2の端末装置からデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信するステップとを有することを特徴とする請求項45記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項47】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項46記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項48】 上記第2の端末装置によって選択された情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、この同意データを上記第2の端末装置に送信するステップとを有することを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項49】 上記第1の端末装置から送信された情報提供者の口座識別データと上記第2の端末装置から送信された利用者の口座識別データとを記憶し、それぞれの口座データの更新を行うステップを有することを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項50】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項51】 上記依頼料金データは、依頼件数が多くなるに連れて高く設定されることを特徴とする請求項50記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項52】 所定期間を経過しても上記第1の端末装置から第2のコンテンツが送信されないとき、督促データを上記第1の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項40記載のサーバ装置のデータ送受信方法。

【請求項53】 情報提供者が第1の端末装置より送信した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを受信するための手段と、上記第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データを記

憶手段に記憶させるための手段と、上記第2の端末装置よりアクセスされたとき、上記第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを上記第2の端末装置に送信するための手段と、上記情報提供者が選択した情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記第2の端末装置より受信するための手段と、上記第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、上記第1の端末装置に上記リクエストデータを送信するための手段と、上記第1の端末装置より上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するための手段と、上記利用者識別データに基づいて上記第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するための手段とが記録された記録媒体。

【請求項54】 上記第1の端末装置より第1のコンテンツを受信したとき、上記第2の端末装置に送信可能にする第1のコンテンツを選択するための手段が記録された請求項53記載の記録媒体。

【請求項55】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項53記載の記録媒体。

【請求項56】 上記第1の端末装置からの第1のコンテンツを、作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群に分類するための手段と、上記第2の端末装置からこれらのデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信するための手段とが記録された請求項55記載の記録媒体。

【請求項57】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するための手段が記録された請求項56記載の記録媒体。

【請求項58】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項53記載の記録媒体。

【請求項59】 第1の端末装置からの第1のコンテンツを楽曲データ群に分類するための手段と、上記第2の端末装置からデータ群の中から選択されたデータを情報提供者選択データとして受信するための手段とが記録された請求項58記載の記録媒体。

【請求項 6 0】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記第2の端末装置に送信するための手段が記録された請求項59記載の記録媒体。

【請求項 6 1】 上記第2の端末装置によって選択された情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを送信するための手段と、上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、この同意データを上記第2の端末装置に送信するための手段とが記録された請求項53記載の記録媒体。

【請求項 6 2】 上記第1の端末装置から送信された情報提供者の口座識別データと上記第2の端末装置から送信された利用者の口座識別データとを記憶し、それぞれの口座データの更新を行う手段が記録された請求項53記載の記録媒体。

【請求項 6 3】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項53記載の記録媒体。

【請求項 6 4】 上記依頼料金データを、依頼件数が多くなるに連れて高く設定する手段が記録された請求項63記載の記録媒体。

【請求項 6 5】 所定期間を経過しても第1の端末装置から第2のコンテンツが送信されないときに、督促データを上記第1の端末装置に送信するための手段が記録された請求項53記載の記録媒体。

【請求項 6 6】 第1のコンテンツと共にこの第1のコンテンツの情報提供者識別データを記憶する記憶手段と、

上記記憶手段に記憶された上記第1のコンテンツと情報提供者識別データをサーバ装置に送信する送受信手段と、

全体の動作を制御する制御手段とを備え、

上記制御手段は、上記第1のコンテンツと情報提供者識別データをサーバ装置に送信し、

上記サーバ装置より上記情報提供者識別データに基づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信すると、このリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを上記サーバ装置に送信することを特徴とする情報処理端末装置。

【請求項67】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項66記載の情報処理端末装置。

【請求項68】 上記制御手段は、上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項67記載の情報処理端末装置。

【請求項69】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項66記載の情報処理端末装置。

【請求項70】 上記制御手段は、上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項69記載の情報処理端末装置。

【請求項71】 上記制御手段は、上記サーバ装置から送信された上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを受信し、依頼に同意するとき、上記サーバ装置に同意データを送信することを特徴とする請求項66記載の情報処理端末装置。

【請求項72】 上記制御手段は、上記サーバ装置に情報提供者の口座識別データを送信することを特徴とする請求項66記載の情報処理端末装置。

【請求項73】 上記制御手段は、所定期間経過して上記リクエストデータに応じた第2のコンテンツを制作しないとき、上記サーバ装置より督促データを受信することを特徴とする請求項66記載の情報処理端末装置。

【請求項74】 情報提供者が制作した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データをサーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置より上記情報提供者識別データに基づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信するステップと、

上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを上記サーバ装置に送信するステップとを有する情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項75】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項74記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項76】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコ

ンテンツとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項75記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項77】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項74記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項78】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項77記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項79】 上記サーバ装置から送信された上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを受信し、依頼に同意するとき、上記サーバ装置に同意データを送信するステップを有することを特徴とする請求項74記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項80】 上記サーバ装置に情報提供者の口座識別データを送信するステップを有することを特徴とする請求項74記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項81】 所定期間経過して上記リクエストデータに応じた第2のコンテンツを制作しないとき、上記サーバ装置より督促データを受信するステップを有することを特徴とする請求項74記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項82】 情報提供者が制作した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データをサーバ装置に送信するための手段と、上記サーバ装置より上記情報提供者識別データに基づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信するための手段と、上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを上記サーバ装置に送信するための手段とが記録された記録媒体。

【請求項83】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項82記載の記録媒体。

【請求項84】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記サーバ装置に送信するための手段が記録された請求項83記載の記録媒体。

【請求項85】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とす

る請求項82記載の記録媒体。

【請求項86】 上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして上記サーバ装置に送信する手段が記録された請求項85記載の記録媒体。

【請求項87】 上記サーバ装置から送信された上記第2の端末装置からの依頼に同意するかどうかのデータを受信するための手段と、依頼に同意するとき、上記サーバ装置に同意データを送信する手段とが記録された請求項82記載の記録媒体。

【請求項88】 上記サーバ装置に情報提供者の口座識別データを送信する手段が記録された請求項82記載の記録媒体。

【請求項89】 所定期間経過して上記リクエストデータに応じた第2のコンテンツを制作しないとき、上記サーバ装置より督促データを受信する手段が記録された請求項82記載の記録媒体。

【請求項90】 サーバ装置にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関連する関連データとをダウンロードする送受信手段と、

上記サーバ装置よりダウンロードした第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関連する関連データとを記憶する記憶手段と、

上記記憶手段に記憶した関連データを表示する表示手段と、

上記表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択する選択手段と、

全体の動作を制御する制御手段とを備え、

上記制御手段は、上記表示手段に表示された関連データの中から上記選択手段によって少なくとも1つの情報提供者が選択されたとき、選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記サーバ装置に送信し、

上記サーバ装置より上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信することを特徴とする情報処理端末装置。

【請求項91】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏デ

ータであることを特徴とする請求項90記載の情報処理端末装置。

【請求項92】 上記制御手段は、上記選択手段の操作に応じて作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項91記載の情報処理端末装置。

【請求項93】 上記制御手段は、上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信することを特徴とする請求項92記載の情報処理端末装置。

【請求項94】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項90記載の情報処理端末装置。

【請求項95】 上記制御手段は、上記選択手段の操作に応じて楽曲データ群の中からそれぞれ1つを選択し、この選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項94記載の情報処理端末装置。

【請求項96】 上記制御手段は、上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信することを特徴とする請求項95記載の情報処理端末装置。

【請求項97】 上記制御手段は、送信したリクエストデータのリクエストに同意する同意データをサーバ装置から受信することを特徴とする請求項90記載の情報処理端末装置。

【請求項98】 上記制御手段は、上記サーバ装置に利用者の口座識別データを送信することを特徴とする請求項90記載の情報処理端末装置。

【請求項99】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項90記載の情報処理端末装置。

【請求項100】 上記依頼料金データは、依頼件数が多くなるに連れて高く設定されることを特徴とする請求項99記載の情報処理端末装置。

【請求項101】 サーバ装置にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとをダウンロードし表示手段に表示するステップと、

上記表示手段に表示された関連データの中から上記選択手段によって少なくとも1つの情報提供者を選択するステップと、

選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記サーバ装置に送信するステップと、

上記サーバ装置より上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するステップとを有する情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項102】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項101記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項103】 上記選択手段の操作に応じて作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群の中からそれぞれ1つを選択するステップと、

上記選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するステップとを有することを特徴とする請求項102記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項104】 上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信することを特徴とする請求項103記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項105】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴とする請求項101記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項106】 上記選択手段の操作に応じて楽曲データ群の中から1つを選択するステップと、

上記選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するステップとを有することを特徴とする請求項105記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項107】 上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信することを特徴とする請求項106記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項108】 送信したリクエストデータのリクエストに同意する同意デ

ータをサーバ装置から受信するステップを有することを特徴とする請求項101記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項109】 上記サーバ装置に利用者の口座識別データを送信するステップを有することを特徴とする請求項101記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項110】 上記関連データには、更に上記情報提供者に依頼する際の依頼料金データが含まれることを特徴とする請求項101記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項111】 上記依頼料金データは、依頼件数が多くなるに連れて高く設定されることを特徴とする請求項110記載の情報処理端末装置のデータ送受信方法。

【請求項112】 サーバ装置にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとをダウンロードし表示手段に表示するための手段と、上記表示手段に表示された関連データの中から上記選択手段によって少なくとも1つの情報提供者を選択するための手段と、選択した情報提供者情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを上記サーバ装置に送信するための手段と、上記サーバ装置より上記リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するための手段とが記録された記録媒体。

【請求項113】 上記第1のコンテンツは、作詞データ、作曲データ、演奏データであることを特徴とする請求項112記載の記録媒体。

【請求項114】 上記選択手段の操作に応じて作詞データ群、作曲データ群、演奏データ群の中からそれぞれ1つを選択するための手段と、上記選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するための手段とが記録された請求項113記載の記録媒体。

【請求項115】 上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信するための手段が記録された請求項114記載の記録媒体。

【請求項116】 上記第1のコンテンツは、楽曲データであることを特徴と

する請求項112記載の記録媒体。

【請求項117】 上記選択手段の操作に応じて楽曲データ群の中から1つを選択するための手段と、

上記選択したデータを情報提供者選択データとして上記サーバ装置に送信するための手段とが記録された請求項116記載の記録媒体。

【請求項118】 上記サーバ装置から上記リクエストデータに応じた楽曲データを、上記第2のコンテンツとして受信するための手段が記録された請求項117記載の記録媒体。

【請求項119】 送信したリクエストデータのリクエストに同意する同意データをサーバ装置から受信するための手段が記録された請求項112記載の記録媒体。

【請求項120】 上記サーバ装置に利用者の口座識別データを送信するための手段が記録された請求項112記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、インターネット等のネットワークを利用して、アーティストに作曲依頼等をすることができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法に関する。

【0002】

【従来技術】

通常、聴衆は、アーティストと直接的な人的つながりは無く、例えばオリジナルの曲等をアーティストに依頼することはなかなかできなかった。また、聴衆者が個人的なつながりによって作曲等をアーティストに依頼する場合であっても、アーティストは、自分が所属するレコード会社との契約内容等によって自由に依頼を受け作曲することができないことがあった。このように、聴衆者がアーティストにオリジナルな曲を作ってもらうこと、特に自分の好きなアーティストに曲を作ってもらうことは極めて困難な環境にある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上述したような実情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、インターネット等のネットワークを利用して、自分の好みのアーティストに容易に作曲等コンテンツの制作を依頼することができる新規なデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0004】

また、本発明の目的は、視聴者がインターネット等を利用してアーティストにコンテンツの制作を依頼する際にはアーティストの曲等を視聴してアーティストを選択することができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0005】

更に、本発明の目的は、視聴者は自分が選択したアーティストに要望を出し、その要望にあったコンテンツをアーティストに制作してもらうことができるデータ送受信システム及びデータ送受信方法を提供することにある。

【0006】

更にまた、本発明の目的は、以上のようなデータ送受信システムに用いるサーバ装置や情報処理端末装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るデータ送受信システムは、上述した課題を解決すべく、情報提供者が第1のコンテンツと共にこの第1のコンテンツの情報提供者識別データを送信する第1の端末装置と、第1の端末装置から送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データとを受信し、記憶手段に記憶するサーバ装置と、第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関連する関連データをサーバ装置よりダウンロードし、この関連データを表示手段に表示すると共に、この表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択し、選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データをサーバ装置に送信する第2の端末装置とを備える。そして、サーバ装置は、第2の端末装置より情報提供

者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、第1の端末装置にリクエストデータを送信し、第1の端末装置は、リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツをサーバ装置に送信し、サーバ装置は、利用者識別データに基づいて第2のコンテンツを第2の端末装置に送信する。

【0008】

また、本発明に係るデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、情報提供者が第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データを第1の端末装置よりサーバ装置に送信するステップと、第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データをサーバ装置の記憶手段に記憶するステップと、第2の端末装置がサーバ装置より第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関連する関連データをサーバ装置からダウンロードし、表示手段に表示するステップと、第2の端末装置の表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択し、この選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データをサーバ装置に送信するステップと、サーバ装置が第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、第1の端末装置にリクエストデータを送信するステップと、第1の端末装置がリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツをサーバ装置に送信するステップと、サーバ装置が利用者識別データに基づいて第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するステップとを有する。

【0009】

更に、本発明に係るサーバ装置は、上述した課題を解決すべく、第1のコンテンツを提供する情報提供者の第1の端末装置と情報提供者に第2のコンテンツの制作依頼を行う第2の端末装置と送受信を行うための送受信手段と、第1の端末装置から送信された第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを記憶する記憶手段と、全体の動作を制御する制御手段とを備える。そして、制御手段は、第2の端末装置からアクセスされたとき、第1のコンテンツ

と情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを送信し、第2の端末装置から、関連データの中から少なくとも1つ選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを受信し、情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、第1の端末装置にリクエストデータを送信し、リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを第1の端末装置より受信したとき、利用者識別データに基づいて第2のコンテンツを第2の端末装置に送信する。

【0010】

更にまた、本発明に係るサーバ装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、情報提供者が第1の端末装置より送信した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを受信するステップと、第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データを記憶手段に記憶するステップと、第2の端末装置よりアクセスされたとき、第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを第2の端末装置に送信するステップと、情報提供者が選択した情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを第2の端末装置より受信するステップと、第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、第1の端末装置にリクエストデータを送信するステップと、第1の端末装置よりリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するステップと、利用者識別データに基づいて第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するステップとを有する。

【0011】

更にまた、本発明に係る記録媒体は、上述した課題を解決すべく、情報提供者が第1の端末装置より送信した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを受信するための手段と、第1の端末装置より送信された第1のコンテンツと情報提供者識別データを記憶手段に記憶させるための手段と、第2の端末装置よりアクセスされたとき、第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データを第2の端末装置に送信するため

の手段と、情報提供者が選択した情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データを第2の端末装置より受信するための手段と、第2の端末装置より情報提供者選択データを受信したとき、この情報提供者選択データに含まれる情報提供者識別データに基づいて、第1の端末装置にリクエストデータを送信するための手段と、第1の端末装置よりリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するための手段と、利用者識別データに基づいて第2のコンテンツを第2の端末装置に送信するための手段とが記録されている。

【0012】

更にまた、本発明に係る情報処理端末装置は、情報提供者宅等に配置されるものであって、上述した課題を解決すべく、第1のコンテンツと共にこの第1のコンテンツの情報提供者識別データを記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶された第1のコンテンツと情報提供者識別データをサーバ装置に送信する送受信手段と、全体の動作を制御する制御手段とを備える。そして、制御手段は、第1のコンテンツと情報提供者識別データをサーバ装置に送信し、サーバ装置より情報提供者識別データに基づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信すると、このリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツをサーバ装置に送信する。

【0013】

更にまた、本発明に係る情報処理端末装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、情報提供者が制作した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データをサーバ装置に送信するステップと、サーバ装置より情報提供者識別データに基づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信するステップと、リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツをサーバ装置に送信するステップとを有する。

【0014】

更にまた、本発明に係る記録媒体は、上述した課題を解決すべく、情報提供者が制作した第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データをサーバ装置に送信するための手段と、サーバ装置より情報提供者識別データに基

づいて第2の端末装置からのリクエストデータを受信するための手段と、リクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツをサーバ装置に送信するための手段とが記録されている。

【0015】

更にまた、本発明に係る情報処理端末装置は、例えば利用者宅に配置されるものであって、上述した課題を解決すべく、サーバ装置にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとをダウンロードする送受信手段と、サーバ装置よりダウンロードした第1のコンテンツと情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとを記憶する記憶手段と、記憶手段に記憶した関連データを表示する表示手段と、表示手段に表示された関連データの中から少なくとも1つの情報提供者を選択する選択手段と、全体の動作を制御する制御手段とを備える。そして、制御手段は、表示手段に表示された関連データの中から選択手段によって少なくとも1つの情報提供者が選択されたとき、選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データをサーバ装置に送信し、サーバ装置よりリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信する。

【0016】

更にまた、本発明に係る情報処理端末装置のデータ送受信方法は、上述した課題を解決すべく、サーバ装置にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとをダウンロードし表示手段に表示するステップと、表示手段に表示された関連データの中から選択手段によって少なくとも1つの情報提供者を選択するステップと、選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データをサーバ装置に送信するステップと、サーバ装置よりリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するステップとを有する。

【0017】

更にまた、本発明に係る記録媒体は、上述した課題を解決すべく、サーバ装置

にアクセスして第1のコンテンツとこの第1のコンテンツの情報提供者識別データとを含む情報提供者に関する関連データとをダウンロードし表示手段に表示するための手段と、表示手段に表示された関連データの中から選択手段によって少なくとも1つの情報提供者を選択するための手段と、選択した情報提供者の情報提供者識別データと情報提供者へのリクエストデータと利用者識別データとを含む情報提供者選択データをサーバ装置に送信するための手段と、サーバ装置よりリクエストデータに応じた更なる第2のコンテンツを受信するための手段とが記録されている。

【0018】

【発明の実施の形態】

以下、本発明が適用されたデータ送受信システムについて、図面を参照しながら説明する。このデータ送受信システムは、ホームページに公表されたアーティストの作品を利用者が試聴して、利用者が自分で選んだアーティストにオリジナルな楽曲の制作を依頼することができるシステムである。

【0019】

図1は、本発明を適用したデータ送受信システムの構成を示すブロック図である。このデータ送受信システム1は、図1に示すように、演奏家、作曲家等のアーティスト宅に設置されるアーティスト端末装置10と、アーティスト端末装置10より楽曲データ、作曲データ、作詞データ等がアップロードされるサーバ装置30と、このサーバ装置30にアクセスしてアーティストを選択し選択したアーティストに楽曲データ等の制作を依頼する視聴者端末装置40とを備える。そして、アーティスト端末装置10と視聴者端末装置40とは、ISDN (Integrated Services Digital Network) 回線、CATV (Cable Television) 回線等の電気通信回線を介してインターネット2内のプロバイダのサーバ装置30に接続されている。

【0020】

第1の端末装置となるアーティスト端末装置10は、例えば一人で作詞作曲演奏を行う演奏家や作曲を行う作曲家、作詞を行う作詞家、作曲家が制作した譜面と作詞家が制作した歌詞に基づいて演奏する演奏家等の自宅に設置されたパソ

ナルコンピュータ等である。このアーティスト端末装置10は、楽曲データ、作詞データ、作曲データ等のコンテンツや楽曲制作支援プログラム、ホームページを検索閲覧する検索閲覧プログラム、電子メールプログラム等のアプリケーションプログラム等を保存しておくハードディスクドライブ(hard disk drive:以下、単にHDDという。)11と、サーバ装置30とデータの送受信を行うための送受信部12と、全体の動作を制御するための制御プログラム等が記憶されたリード・オンリ・メモリ(read only memory:以下、単にROMという。)13と、ROM13から制御プログラム等が一旦読み込まれるランダム・アクセス・メモリ(random access memory:以下、単にRAMという。)14と、キーボード、マウス等からなる操作部15と、サーバ装置30にアクセスしたときにホームページを表示する表示部16と、全体の動作を制御する中央演算処理装置(central processing unit:以下、CPUという。)17とを備える。

【0021】

また、このアーティスト端末装置10は、更に、例えばHDD11に記憶された楽曲データ等をデコードするデコーダ18と、デコードされた楽曲データ等をデジタル信号からアナログ信号に変換するデジタル/アナログ変換器(以下、D/Aコンバータという。)19と、アナログ信号に変換された楽曲データを出力するスピーカ20を備える。更に、このアーティスト端末装置10は、再生専用若しくは記録可能な光ディスク、光磁気ディスク、半導体メモリを記録媒体に用いるICカード等の外部記憶装置を駆動するドライブ21と、電子楽器等の外部機器が接続されるインターフェース(以下、単にI/Fという)22とを備える。

【0022】

以上のようなアーティスト端末装置10では、アーティストがHDD11に保存された所望のアプリケーションプログラムを起動するように操作部15より起動コマンドを入力すると、CPU17がHDD11やROM13より必要なプログラムをRAM14に読み出し実行する。

【0023】

例えばアーティストが作詞や作曲を行うときには、上述した楽曲制作支援プロ

グラムを起動し、アーティストがキーボード、マウス等の操作部15を操作することによって、楽曲制作支援プログラム等がCPU17によって実行される。これによって、アーティストは、作詞、作曲を容易に行うことができ、作詞、作曲したデータは、HDD11に作詞、作曲した作詞、作曲データをHDD11に保存することができる。また、アーティストが楽曲を演奏するときには、I/F22に電子楽器を接続し、アーティストがこの電子楽器を演奏すると、この演奏データがI/F22よりアーティスト端末装置10に入力され、これによって、HDD11に演奏データを保存することができる。

【0024】

アーティストがHDD11に保存した楽曲データや作曲データに基づいた演奏データを再生するときには、操作部15によって再生する楽曲データ若しくは演奏データのファイルを実行すると、楽曲データや演奏データがデコーダ18でデコードされ、D/Aコンバータ19でデコードされた楽曲データや演奏データがアナログ信号に変換されることにより、スピーカ20より出力される。

【0025】

また、アーティスト端末装置10では、サーバ装置30に開設されたホームページを閲覧することができ、また、HDD11に保存された作詞データ、作曲データ、楽曲データをサーバ装置30にアップロードすることができる。例えば、アーティストがサーバ装置30に開設されたホームページを閲覧するときには、アーティストが操作部15を用いてそのホームページの所在を示すURL (uniform resource location) の入力操作を行うと、それに対応した閲覧検索ソフト、TCP/IP (transmission control protocol/internet protocol) 等の伝送プロトコルが実行され、インターネット2を介して、サーバ装置30にアクセスして、そのホームページを表示部16に表示することができる。

【0026】

また、アーティスト端末装置10からは、アーティストが制作した作詞データ、作曲データ、演奏データ、楽曲データ等のコンテンツをサーバ装置30にアップロードすることができる。すなわち、操作部15によって所定のURLが入力されると、TCP/IP等が実行され、これらのデータは、サーバ装置30にア

ップロードされる。

【0027】

なお、このようなアーティスト端末装置10では、例えば上述したアプリケーションプログラムを外部記憶装置からインストールするときには、操作部15でインストールするコマンドを入力すると、CPU17が、ドライブ21からここに装着された外部記憶装置より当該アプリケーションプログラムを読み出し、HDD11にインストールする。また、アーティスト端末装置10では、楽曲データ等のコンテンツが記憶された外部記憶装置をドライブ21に装着し駆動することで、HDD11にコンテンツデータを複写することもできる。

【0028】

以上のようなアーティスト端末装置10よりコンテンツがアップロードされるサーバ装置30は、図1に示すように、通常のコンピュータと同様な構成を有しており、ホームページ等が記憶された記憶部31と、全体の制御プログラム等が記憶されたROM32と、ROM32等に記憶されたデータが一旦読み込まれるRAM33と、データをエンコード、デコードするコーディック34と、アーティスト端末装置10や視聴者端末装置40とデータの送受信を行う送受信部35と、全体の動作をROM32等に記憶されたプログラムに基づいて制御する制御部36と、アプリケーションプログラム等を記憶部31にインストールするためのドライブ37とを備える。

【0029】

このサーバ装置30には、アーティストがアーティスト端末装置10よりアップロードした楽曲データ等のコンテンツを公開し、コンテンツを公開したアーティストの中から一人又は複数人のアーティストを選択し、選択したアーティストに視聴者がオリジナルな楽曲の制作を依頼することができるホームページが開設されている。更に具体的には、このホームページでは、視聴者が楽曲の制作依頼をすることができるアーティストのオーディションが開催され、また、このオーディションに通過したアーティストの中から視聴者がアーティストの作品を試聴し、自分の好きなアーティストを選択して楽曲制作依頼を行うようになっている。

【0030】

なお、このようなサーバ装置30では、上述した催しを実行するためのアプリケーションプログラムを外部記憶装置からインストールするときには、制御部36が、ドライブ37からここに装着された外部記憶装置より当該アプリケーションプログラムを読み出し、記憶部31等にインストールする。

【0031】

サーバ装置30に開設された上記ホームページを閲覧し、アーティストにコンテンツの制作依頼を行う視聴者端末装置40は、図1に示すように、例えば利用者宅に設置されたパーソナルコンピュータである。この視聴者端末装置40は、ホームページを検索閲覧する検索閲覧プログラム、電子メールプログラム等のアプリケーションプログラムや楽曲データ等を保存しておくHDD41と、サーバ装置30とデータの送受信を行うための送受信部42と、全体の動作を制御するための制御プログラム等が記憶されたROM43と、ROM43から制御プログラム等が一旦読み込まれるRAM44と、キーボード、マウス等からなる操作部45と、サーバ装置30にアクセスしたときにホームページを表示する表示部46と、HDD41やROM43に記憶されたプログラムに基づいて全体の動作を制御するCPU47とを備える。

【0032】

また、この視聴者端末装置40は、更に、例えばサーバ装置30よりダウンロードした楽曲データ、演奏データ等をデコードするデコーダ48と、デコードされた楽曲データ、演奏データ等をデジタル信号からアナログ信号に変換するD/Aコンバータ49と、アナログ信号に変換された楽曲データ、演奏データ等を出力するスピーカ50を備える。更に、この視聴者端末装置40は、再生専用若しくは記録可能な光ディスク、光磁気ディスク、半導体メモリを記録媒体に用いるICカード等の外部記憶装置を駆動するドライブ51を備える。

【0033】

以上のような視聴者端末装置40では、サーバ装置30に開設されたホームページを閲覧することができ、また、サーバ装置30より所望のアーティストの作詞データ、作曲データ、楽曲データ等のコンテンツをダウンロードすることがで

きる。例えば、視聴者がサーバ装置30に開設されたホームページを閲覧するときには、視聴者が操作部45を用いてそのホームページの所在を示すURLの入力操作を行うと、それに対応した閲覧検索ソフト、TCP/IPが実行され、インターネット2を介して、サーバ装置30にアクセスして、当該ホームページを表示部46に表示することができる。また、視聴者がホームページを閲覧して気に入ったアーティストのコンテンツ、例えば楽曲データをダウンロードするときには、視聴者が操作部45でダウンロードを開始する入力操作を行うと、そのコマンドがサーバ装置30に送信される。これによって、視聴者端末装置40は、所望の楽曲データをサーバ装置30よりダウンロードし、HDD41に保存することができる。

【0034】

HDD41に保存した楽曲データ等を再生するときには、操作部45によって再生する楽曲データのファイルを実行すると、楽曲データがデコーダ48でデコードされ、D/Aコンバータ49でデコードされた楽曲データがアナログ信号に変換され、スピーカ20より出力される。これによって、視聴者は、アーティストに楽曲の制作依頼を行うに際して、ダウンロードした楽曲を聴き比べることによって自分の気に入ったアーティストを選択することができる。

【0035】

なお、このような視聴者端末装置40では、アプリケーションプログラムを外部記憶装置からインストールするときには、操作部45でインストールするコマンドを入力すると、CPU47が、ドライブ51からここに装着された外部記憶装置より当該アプリケーションプログラムを読み出し、HDD41にインストールする。

【0036】

更に、このデータ送受信システム1は、視聴者がアーティストに楽曲の制作依頼を行う際の決済処理を行う課金サーバ装置60を備える。この課金サーバ装置60は、図1に示すように、サーバ装置30と専用線3で接続されると共に銀行センタ70に専用線4で接続された送受信部61と、データを符号復号するコーディック62と、アーティストや視聴者等の口座管理データが記憶された記憶部

63と、全体の動作制御用のプログラムが記憶されたROM64と、ROM64に記憶されたプログラムがロードされるRAM65と、全体の制御を行う制御部66とを備える。

【0037】

課金サーバ装置60は、アーティストがアーティスト端末装置10でエントリしたとき、アーティストの口座データを更新することによりエントリ費用の決済処理を行い、また、視聴者が視聴者端末装置40を介して楽曲制作依頼をしたとき、視聴者やアーティストの口座データを更新し決済処理を行う。

【0038】

次に、以上のように構成されたデータ送受信システムを用いて、アーティストが自分の制作したコンテンツをエントリする方法について図2を参照して説明する。

【0039】

ステップS1において、サーバ装置30では、ホームページにおいて、視聴者が楽曲の制作依頼をすることができるアーティストのオーディションを開催することが告知される。ここで、ホームページでは、オーディションの応募要項を掲載する。具体的に、ホームページでは、「作詞の部」、「作曲の部」、「演奏の部」、「楽曲の部」があり、部門別に応募できること、応募期間、エントリ費用等を告知する。また、ホームページでは、応募したアーティストについて、視聴者が所定期間内に自分の気に入ったアーティストに投票できることを告知する。なお、このオーディションは、応募者に対して同じテーマ、すなわち課題を与えるようにしてもよい。作詞部門では、例えばテーマを「海」とすることで、海にまつわる詞をアーティストから募集するようにしてもよい。また、作曲部門では例えばテーマを「ボサノバ」とすることで、ボサノバにまつわる曲を募集するようにしてもよい。更に、演奏部門では例えば課題曲を与えることで、この課題曲を演奏家から募集するようにしてもよい。更にまた、楽曲の部では、作詞に関し「海」等のテーマを与え、作曲に関し「ボサノバ」等のテーマを与え、演奏に関し課題曲を与え総合評価できるようにしてもよい。

【0040】

ステップS2において、アーティストがアーティスト端末装置10によって、操作部15でURLを指定してこのホームページにアクセスすると、アーティスト端末装置10は、このホームページをダウンロードし、表示部16にこのホームページを表示する。このホームページには、図3に示すように、部門別に既にエントリしているアーティストの氏名又はペンネームとそのアーティストのコンテンツとコメントが紹介されている。

【0041】

アーティストがエントリするためには、ステップS3において、アーティストが操作部15によって、所望の部門のエントリ鉤81をクリックすると、アーティスト端末装置10は、アーティストがオーディションに参加することを示す参加信号と共に、自分の識別データや自分が応募した部門に該当するコンテンツやアーティストのコメント等をサーバ装置30にアップロードする。また、このとき、アーティスト端末装置10は、応募者の特定のため、応募したアーティストの住所、電話番号、電子メールアドレス等の他エントリ費用を徴収するため、アーティストの口座データを送信する。

【0042】

ステップS4において、サーバ装置30は、エントリしてきたアーティストの登録処理を行い、ステップS5において、ホームページに応募したアーティストのコンテンツを公表する。図3に示すように、ホームページでは、登録したアーティストのコンテンツを氏名若しくはペンネーム及びコメントと対応させて公表する。

【0043】

ステップS6において、視聴者が視聴者端末装置40によって操作部45でURLを指定してこのホームページにアクセスすると、視聴者端末装置40は、表示部46に図3に示すようなホームページを表示する。そして、例えば、視聴者が操作部45でアーティストの氏名をクリックすると、視聴者端末装置40は、サーバ装置30より、クリックしたアーティストのコンテンツをダウンロードする。

【0044】

具体的に、視聴者が操作部45で作詞部門のアーティスト名をクリックしたときには、視聴者端末装置40は、作詞データをダウンロードし、表示部46に表示する。また、視聴者が操作部45で作曲部門のアーティスト名をクリックしたときには、視聴者端末装置40は、譜面及びこの譜面を演奏した演奏データをダウンロードする。すると、視聴者端末装置40は、譜面を表示部46に表示すると共に、演奏データをデコーダ48でデコードし、デコードされた演奏データをD/Aコンバータ49がアナログ信号に変換し、スピーカ50より出力する。更に、視聴者が操作部45で演奏部門のアーティスト名をクリックしたときには、視聴者端末装置40は、演奏データをサーバ装置30よりダウンロードし、この演奏データをデコーダ48でデコードし、デコードされた演奏データをD/Aコンバータ49がアナログ信号に変換し、スピーカ50より出力する。更にまた、視聴者が操作部45で楽曲部門のアーティスト名をクリックしたときには、視聴者端末装置40は、楽曲データをサーバ装置30よりダウンロードし、この楽曲データをデコーダ48でデコードし、デコードされた楽曲データをD/Aコンバータ49がアナログ信号に変換し、スピーカ50より出力する。

【0045】

かくして、視聴者は、実際にエントリしているアーティストのコンテンツを実際に目で見て、また実際に耳で聞き、そのときの感想とホームページに表示されたアーティストのコメント等を参考にして自分の好きなアーティストを選択することができる。

【0046】

視聴者が自分の好きなアーティストが決まると、ステップS7において、図3に示すように、各アーティスト毎に設けられた投票鉢82を操作部45でクリックする。操作部45で視聴者所望のアーティストの投票鉢82がクリックされると、視聴者端末装置40は、その投票信号を、サーバ装置30に送信する。サーバ装置30は、この投票信号に基づいて、アーティスト毎の投票数をカウントする。

【0047】

ステップS8において、サーバ装置30は、投票期間が経過したかを判断し、

所定の期間を経過したとき、ステップS9に進み、経過していないとき、ステップS9を繰り返す。

【0048】

ステップS9において、サーバ装置30は、各アーティストの投票数を計数する。そして、ステップS10において、サーバ装置30は、各アーティストが閾値以上であるかどうかを判断し、閾値以上であるアーティストについては、ステップS11に進み、閾値に満たないアーティストについては、ステップS12に進む。

【0049】

ステップS11において、サーバ装置30は、投票数が閾値以上であるアーティストをオーディションに合格したアーティストであると判断し、ステップS12において、投票数が閾値に満たないアーティストを不合格であると判断する。サーバ装置30は、ステップS13において、オーディションに合格したアーティストのアーティスト端末装置10にオーディションに合格したこと示す合格通知を送信する。この合格通知では、今後、視聴者からの依頼に基づいて作詞、作曲等を行うことができることも通知する。また、サーバ装置30は、ステップS14において、オーディションに不合格であるアーティストのアーティスト端末装置10にオーディションに不合格であったことを示す不合格通知を送信する。かくして、合格通知若しくは不合格通知をアーティスト端末装置10で受信したアーティストは、自分がオーディションに合格したか否かを知ることができる。

【0050】

また、ステップS16において、サーバ装置30は、ホームページにおいて、図4に示すように、オーディションの結果発表を行う。すなわち、図3において、A～Lのアーティストがエントリしているが、このオーディションではステップS10において閾値以上の票を獲得したアーティストがA、C、D、E、H、I、J、Lであったことから、ホームページには、これらのものがオーディションの合格者として、図4に示すように公表されている。そして、今後、視聴者は、これらの合格者に対して、オリジナルな楽曲の制作依頼を行うことができるよ

うになる。

【0051】

すなわち、図5に示すように、ステップS21において、サーバ装置30は、オーディションに合格したアーティストのコンテンツをアーティストの氏名若しくはペンネームに対応づけて図6に示すようにホームページに公表する。ここで、視聴者向けのホームページに公表するコンテンツは、オーディションに応募したときのものと必ずしも同じものである必要が無く、オーディションに合格した後改めてサーバ装置30にアップロードしたものであってもよい。

【0052】

ステップS22において、視聴者が視聴者端末装置40によって操作部45でURLを指定してこのホームページにアクセスすると、視聴者端末装置40は、表示部46にホームページを表示する。

【0053】

ステップS23において、視聴者が操作部45でアーティストの氏名若しくはペンネームの選択鉗83をクリックすると、視聴者端末装置40は、サーバ装置30より、クリックしたアーティストのコンテンツをダウンロードする。そして、視聴者は、自分が楽曲の制作依頼を行うアーティストのコンテンツを実際に目で見て、また実際に耳で聞き、そのときの感想とホームページに表示されたアーティストのコメント等を参考にして自分の好きなアーティストを選択することができる。

【0054】

ステップS24において、サーバ装置30は、アーティスト毎に、視聴者が視聴者端末装置40でアクセスした回数を計数する。そして、サーバ装置30は、ステップS25において、このアーティスト毎のアクセス回数に応じて各アーティストの依頼料金を決定する。

【0055】

具体的に、図7に示すように、サーバ装置30は、アクセス回数の多いアーティストについて料金が高くなるように設定する。すなわち、アクセス回数、すなわちアクセスした人数が1～50人までのアーティストは、依頼料金を5000

円とし、51～100人までのアーティストは、依頼料金を10000円とし、101～150人までのアーティストは、依頼料金を15000とする。図7の例では、アーティストAは、アクセス件数が51～100人の間であるから、料金が5000円に設定され、アーティストBは、アクセス件数が101～150人であるから、料金が15000円に設定され、アーティストCは、アクセス件数が1～50人であるから、料金が5000円に設定される。

【0056】

なお、この依頼価格やアクセス件数の範囲は、図7の例に限定されるものではない。また、依頼料金は、実際に依頼のあった件数に応じて決定するようにもよく、また、アーティストの料金をアクセス件数、依頼件数に関係なく同じ価格としてもよい。

【0057】

次いで、ステップS26において、サーバ装置30は、各アーティストの依頼料金を、アクセス件数に応じて逐次更新する。すなわち、サーバ装置30は、アーティストのアクセス件数が次の価格帯の人数に達したとき、自動的に依頼料金を値上げする。例えば、アーティストについて料金アーティストAに関し、サーバ装置30は、最初の料金決定後、アクセス件数が101人を超えた時点で依頼料金を15000円に値上げする。すなわち、アクセス件数の多いアーティストは、それだけ視聴者にとって関心のあるアーティストであり、したがって、サーバ装置30は、これらのアーティストの依頼料金を高く設定することで、より高い収益を見込むことができる。

【0058】

次に、視聴者がホームページを見て自分の好きなアーティストに楽曲の制作をインターネット2を介して依頼し、この依頼した曲がアーティストから納品されるまでの処理について、図8を参照して説明する。

【0059】

先ず、ステップS31において、サーバ装置30は、ホームページに上記図2に示すオーディションに合格したアーティストの一覧が設けられたホームページを公表する。図6に示すように、ホームページには、「作詞の部」、「作曲の部

」、「演奏の部」、「楽曲の部」の欄が設けられ、それぞれの部に、オーディションに合格したアーティストが表示される。部門別に分類されたアーティストの欄は、氏名に関連づけてコメント欄、依頼金額欄、アーティストを選択するときに操作部45によってクリックされる選択鉤83が設けられている。その他、このホームページには、アーティストへ楽曲の制作を依頼してから依頼した楽曲が納品されるまでの手順が説明されている。

【0060】

ステップS32において、視聴者が視聴者端末装置40によって、操作部45でURLを指定してこのホームページにアクセスすると、視聴者端末装置40は、このホームページをダウンロードし、表示部46に図6のようなホームページを表示する。すなわち、視聴者端末装置40は、すくなくともアーティストのコンテンツとこのコンテンツの提供者の識別データをダウンロードする。

【0061】

そして、ステップS33において、例えば視聴者が操作部45でアーティストの選択鉤83をクリックすると、視聴者端末装置40は、そのアーティストを選択したことを示す選択信号をサーバ装置30に送信する。

【0062】

すると、ステップS34において、サーバ装置30は、選択信号に対応したアーティストのコンテンツを視聴者端末装置40に送信すると共に、選択信号の示すアーティストに楽曲の制作を依頼したときの見積金額を算出し、この見積データを視聴者端末装置40に送信する。

【0063】

ここで、見積金額を算出について説明すると、サーバ装置30は、例えば図9に示すように、視聴者端末装置40より作詞部門のアーティストAと作曲部門のアーティストDと演奏の部のアーティストHの選択信号を受信すると、制御部36によりこの3人に依頼したときの合計金額が見積として算出される。すなわち、制御部36は、アーティストAは5000円でアーティストDは9000円でアーティストHは9000円であるから、これらを合計して23000円を見積金額として視聴者端末装置40に送信する。

【0064】

また、楽曲の部のアーティストに依頼したときには、楽曲を制作するアーティストは、作詞作曲演奏を全て一人で行うことから、依頼したアーティストの依頼金額がそのまま見積となる。すなわち、図10に示すように、アーティストJに依頼したときには、依頼金額が5000円であることから、制御部36は、この5000円を見積として視聴者端末装置40に送信する。

【0065】

そして、視聴者端末装置40は、ステップS35において、サーバ装置30より送信されたコンテンツと見積金額のデータを受信する。

【0066】

具体的に、視聴者が操作部45で作詞部門のアーティストと作曲部門のアーティストと演奏部門のアーティストの選択鉤83をクリックし、選択したときには、視聴者端末装置40は、作詞部門のアーティストが制作した作詞データと作曲部門のアーティストが制作した作曲データ、すなわち譜面と演奏データと演奏部門のアーティストが制作した演奏データをダウンロードする。そして、視聴者端末装置40は、例えば作詞データと譜面を表示部46に表示すると共に、選択的に作曲部門のアーティストが制作した演奏データと演奏部門のアーティストが制作した演奏データをスピーカ50より出力する。

【0067】

かくして、視聴者は、実際にアーティストのコンテンツを実際に目で見て、また実際に耳で聞き、そのときの感想とホームページに表示されたアーティストのコメント等を参考にして自分の好きなアーティストを選択することができる。

【0068】

そして、視聴者が自分の気に入ったアーティストを決め、依頼するとき、視聴者端末装置40は、ステップS36において、図11に示すような楽曲制作依頼票をサーバ装置30よりダウンロードする。そして、視聴者は、楽曲制作依頼票に所定事項を操作部45によって記入する。この楽曲制作依頼票には、図11に示すように、依頼するアーティスト名の欄と依頼料金の欄が設けられている。ここで、アーティスト名の欄は、ステップS33において視聴者端末装置40から

サーバ装置30に送信した選択信号に基づいてサーバ装置30により入力されており、視聴者端末装置40がダウンロードし楽曲制作依頼票を表示部46に表示したときには、依頼するアーティスト名の欄に視聴者が選択したアーティスト名が記載され、依頼料金の欄に選択したアーティストに依頼したときに必要な依頼料金が記載されている。

【0069】

また、楽曲制作依頼票には、楽曲制作の依頼者を特定するため、氏名記入欄、住所記入欄、電話番号入力欄、年齢記入欄、職業記入欄が設けられている。また、この楽曲制作依頼票には、楽曲完成希望日記入欄、依頼料金表示欄が設けられ、更に、依頼するアーティストに自分の要望を伝えるためのリクエストとして、「歌詞に含めて欲しい思いで」、「歌詞に入れて欲しいキーワード」、「アーティストへのメッセージ」等の記入欄が設けられている。このような楽曲制作依頼票には、視聴者が操作部45を操作することによって記入される。

【0070】

楽曲制作依頼票の記入後、ステップS37において、視聴者が図11に示す楽曲制作依頼票の送信鈴84を操作部45でクリックすると、視聴者端末装置40は、所定事項が記入された楽曲制作依頼票をアーティスト選択データとしてサーバ装置30に送信する。そして、待機状態にあるサーバ装置30は、ステップS38において、この所定事項が記入された楽曲制作依頼票を受信する。すなわち、視聴者端末装置40は、依頼する視聴者の識別データと視聴者が選択したアーティストの識別データと依頼するアーティストへのリクエストデータをサーバ装置30に送信し、サーバ装置30がこれを受信することによって、視聴者のアーティストへの依頼操作が完了する。

【0071】

次いで、サーバ装置30は、ステップS39において、視聴者端末装置40から送信された楽曲制作依頼票より特定される視聴者から依頼のあったアーティストのアーティスト端末装置10に、リクエストデータ、すなわち楽曲制作依頼票の「歌詞に含めて欲しい思いで」、「歌詞に入れて欲しいキーワード」、「アーティストへのメッセージ」の欄の内容を送信する。

【0072】

ステップS40において、待機状態にあるアーティスト端末装置10は、リクエストデータを受信すると、これを表示部16に表示する。例えば、サーバ装置30は、視聴者端末装置40より作詞の部のアーティストと作曲の部のアーティストと演奏の部のアーティストから依頼があったときには、それぞれのアーティストのアーティスト端末装置10にリクエストデータを送信する。また、サーバ装置30は、視聴者端末装置40より楽曲の部のアーティストから依頼があったときには、その依頼のあったアーティストのアーティスト端末装置10にリクエストデータを送信する。これによって、アーティストは、自分に視聴者から依頼があったことを知ることができると共に、その依頼内容を知ることができる。そして、アーティストは、サーバ装置30から送信されたリクエストデータに基づいて、この依頼を受任するどうかを決断することができる。

【0073】

ステップS41において、アーティスト端末装置10は、アーティストの操作に応じてサーバ装置30から送信された視聴者からの依頼を承諾する承諾データ若しくはこの依頼を断る不承諾データを送信する。

【0074】

ステップS42において、サーバ装置30は、アーティスト端末装置10から不承諾データを受信したかどうかを判断し、不承諾データを受信したとき、ステップS43に進み、不承諾データを受信しなかったとき、ステップS44に進む。

【0075】

サーバ装置30は、不承諾データを受信したとき、ステップS38で受信したアーティストへ依頼を行った視聴者の視聴者識別データに基づいて、ステップS43において、視聴者が選択したアーティストが依頼を断ったことを示す不承諾データを視聴者端末装置40に送信し、ステップS45において処理を終了する。ステップS48において、視聴者端末装置40は、ステップS46において、不承諾データを受信したかどうかを判断し、不承諾データを受信したとき、ステップS33に戻り、再度視聴者がアーティストの選択を行うことができるよう

する。また、視聴者端末装置40は、不承諾データを受信していないとき、ステップS48に進む。

【0076】

上記ステップS42において、サーバ装置30が不承諾データをアーティスト端末装置10より受信しなかったとき、サーバ装置30は、ステップS44に進み、視聴者端末装置40から承諾データを受信したかどうかを判断する。そして、サーバ装置30は、承諾データを受信したとき、ステップS47に進み、ステップS38で受信したアーティストへ依頼を行った視聴者の視聴者識別データに基づいて、承諾データを視聴者端末装置40に送信し、承諾データを受信しなかったとき、ステップS42に戻る。

【0077】

ステップS48において、視聴者端末装置40は、サーバ装置30から承諾データを受信したかどうかを判断し、承諾データを受信したとき、ステップS49に進み、承諾データを受信しないとき、ステップS46に戻る。視聴者は、視聴者端末装置40が承諾データを受信したとき、自分の依頼したアーティストが自分の依頼を承諾してくれたこと知ることができる。そして、ステップS49において、視聴者端末装置40は、視聴者の操作に応じて、アーティストにコンテンツの正式依頼を行うための正式依頼データをサーバ装置30に送信する。このとき、視聴者端末装置40は、アーティストに依頼料金を支払うため、自分の口座データも送信する。

【0078】

ステップS50において、サーバ装置30は、視聴者端末装置40から正式依頼データを受信すると、次いで、ステップS51において、正式依頼データのみをアーティスト端末装置10に送信する。ステップS52において、視聴者端末装置40は、正式依頼データを受信すると、これを見たアーティストは、コンテところで、アーティストは、視聴者からの依頼を受けたとき、すなわちステップS52において、承諾データをサーバ装置30に送信した後、作詞、作曲又は楽曲の制作を開始する。

【0079】

例えば、視聴者が作詞の部のアーティストと作曲の部のアーティストと演奏の部のアーティストに依頼をしているときには、先ず、作詞の部のアーティストがリクエストデータに基づいて作詞を行い、アーティスト端末装置10よりサーバ装置30に作詞データをアップロードし、また、作曲の部のアーティストもリクエストデータに基づいて作曲を行い、アーティスト端末装置10よりサーバ装置30に作曲データをアップロードする。そして、サーバ装置30は、アップロードされた作詞データと作曲データを演奏家のアーティスト端末装置10に送信する。アーティスト端末装置10で受信した演奏家は、サーバ装置30よりダウンロードした作詞データと作曲データとリクエストデータに基づいて楽曲データを制作する。

【0080】

また、楽曲の部のアーティストに楽曲の制作を依頼しているときには、リクエストデータに基づいて、アーティストがリクエストデータに基づいて作詞作曲演奏を行い楽曲を制作する。

【0081】

サーバ装置30は、ステップS53において、承諾データを受信してから所定期間に、アーティスト端末装置10からコンテンツ、すなわち楽曲データを受信したかを判断する。すなわち、サーバ装置30は、図11に示す視聴者が楽曲の制作を依頼するときの楽曲制作依頼票に記載された楽曲完成希望日までに楽曲データを視聴者端末装置40に送信できるように、所定期間にアーティスト端末装置10より楽曲データを視聴者端末装置40に送信できるように、所定期間にアーティスト端末装置10より楽曲データを受信したかを判断する。そして、サーバ装置30は、所定期間にアーティスト端末装置10より楽曲データを受信しなかったとき、ステップS54に進み、受任しているアーティストのアーティスト端末装置10に「例えば納期を過ぎています」等の督促データを送信する。これによって、アーティストが所定期間に楽曲を制作し、視聴者への納品が遅れないようにしている。勿論、納期の数日前等に、「納期が近づいています。」等の督促データをアーティスト端末装置10に送信するようにしてもよい。

【0082】

アーティストは楽曲が完成すると、ステップS55において、完成した楽曲デ

ータをサーバ装置30に送信する。ステップS56において、サーバ装置30は、楽曲データを受信すると、ステップS57において、アーティスト端末装置10より送信された楽曲データを視聴者端末装置40に送信する。そして、視聴者端末装置40は、ステップS58において、この楽曲データを受信する。これによって、楽曲制作を依頼した視聴者の元に、依頼したアーティストが制作した楽曲が納品されることになる。視聴者は、この納品された楽曲データを、HDD41やドライブ51に装着された外部記憶装置に保存する。視聴者が納品された楽曲データを聞くときには、CPU47は、記憶部41等に記憶された楽曲データをRAM65に読み出し、この楽曲データをデコーダ48でデコードし、このデコードされた楽曲データをD/Aコンバータ49でアナログ信号に変換し、スピーカ50より出力する。これによって、視聴者は、自分が依頼したアーティストに制作してもらった楽曲データを聞くことができる。

【0083】

なお、視聴者がアーティストより納品された楽曲データが気に入らなかったときには、視聴者は納品された楽曲データを再度、修正のコメントを添付してサーバ装置30を介してアーティスト端末装置10に送信し、アーティストに修正してもらうようにしてもよい。

【0084】

すなわち、図12に示すように、視聴者端末装置40が上記ステップS54でサーバ装置30より楽曲データを受信すると、視聴者は、視聴者端末装置40のスピーカ50より楽曲データを出力して試聴する。そして、納品された楽曲データが自分のイメージと違った箇所等があるとき、視聴者は、アーティストに修正してもらいたい箇所について、「もっとこうして欲しい。」等のコメントを制作し、視聴者端末装置40は、視聴者の操作に応じてサーバ装置30に修正リクエストデータを送信する。

【0085】

ステップS62において、サーバ装置30は、修正リクエストデータを受信すると、ステップS63において、アーティストに依頼する修正リクエストデータを受信した回数をカウントする。すなわち、ステップS63において、サーバ裝

置30は、視聴者がアーティストに楽曲データの修正を依頼した回数をカウントする。そして、サーバ装置30は、ステップS64において、修正リクエストデータを受信した回数が閾値、すなわち所定回数を超えたかを判断し、所定回数を超えたとき、ステップS65に進み、所定回数を超えていないとき、ステップS70に進む。

【0086】

ステップS64において、修正リクエストデータを受信した回数が所定回数を超えたとき、サーバ装置30は、ステップS65において、視聴者に追加料金の支払いを求める追加料金データを送信する。これによってサーバ装置30は、以後、楽曲データの修正を依頼するたびに料金が加算される旨を視聴者に通知する。

【0087】

ステップS66において、視聴者端末装置40が追加料金データを受信することによって、視聴者は、追加料金との兼ね合いで更にアーティストに楽曲データの修正を加えてもらうかどうかの決断をすることができる。そして、視聴者が更に追加料金を支払って楽曲データの修正を希望するとき、視聴者は追加料金が加算されることを承諾する承諾データを視聴者端末装置40でサーバ装置30に送信する。

【0088】

サーバ装置30は、ステップS68において、視聴者端末装置40からの承諾データを受信したかを判断し、この承諾データを受信したとき、ステップS71に進み、承諾データを受信しないとき、ステップS69に進み、処理を終了する。すなわち、視聴者端末装置40からの修正リクエストデータは、アーティスト端末装置10に送信されないことになり、楽曲データはアーティストによって修正されないことになる。

【0089】

サーバ装置30は、上記ステップS64において修正リクエストデータを受信した回数が所定回数を超えていないと判断したとき、ステップS70に進み、ここで、視聴者がアーティストに楽曲データの修正を依頼することができる残りの

修正依頼可能回数データを視聴者端末装置40に送信する。視聴者端末装置40が残りの修正依頼可能回数データを受信することによって、視聴者は、残りの修正依頼回数を知ることができる。

【0090】

次いで、サーバ装置30は、ステップS71において、アーティスト端末装置10に修正リクエストデータを送信する。ここで、視聴者が修正を依頼する楽曲データが作詞の部のアーティストと作曲の部のアーティストと演奏の部のアーティストに依頼しているときには、各アーティストのアーティスト端末装置10に修正リクエストデータが送信される。そして、作詞の部のアーティストが修正リクエストデータに基づいて詞を修正できるようにし、作曲の部のアーティストも修正リクエストデータに基づいて曲を修正できるようにし、更に演奏の部のアーティストも修正リクエストデータに基づいて演奏を修正できるようにする。また、視聴者が修正を依頼する楽曲データが楽曲の部のアーティストに依頼しているときには、このアーティストのアーティスト端末装置10に修正リクエストデータを送信する。

【0091】

そして、ステップS73において、アーティスト端末装置10は、この修正リクエストデータを受信する。これによって、アーティストは、修正リクエストデータに応じて楽曲データの修正を行うことができる。そして、アーティストは、楽曲データの修正が終了すると、この修正後の楽曲データを、ステップS73において、アーティスト端末装置10によってサーバ装置30に送信する。

【0092】

ステップS74において、サーバ装置30は、修正後の楽曲データを受信すると、ステップS75において、アーティスト端末装置10より送信された修正後の楽曲データを視聴者端末装置40に送信する。そして、視聴者端末装置40は、ステップS76において、この楽曲データを受信する。これによって、楽曲制作を依頼した視聴者の元に、依頼したアーティストが修正した楽曲データが納品されることになる。視聴者は、この納品された修正後の楽曲データを、HDD41やドライブ51に装着された外部記憶装置に保存する。視聴者が修正後の楽曲

データを聞くときには、CPU47は、HDD41等に記憶された楽曲データをRAM65に読み出し、この楽曲データをデコーダ48でデコードし、このデコードされた楽曲データをD/Aコンバータ49でアナログ信号に変換し、スピーカ50より出力する。これによって、視聴者は、自分が依頼したアーティストに制作してもらった修正後の楽曲データを聞くことができる。

【0093】

なお、再度、更に視聴者がアーティストに楽曲データの修正を依頼するときは、上記ステップS61からの処理が繰り返されることになる。

【0094】

このように、視聴者は、自分が気に入るまでアーティストに楽曲データの修正を依頼することができる。

【0095】

次に、アーティストがオーディションに参加するときのエントリ費用や視聴者がアーティストに楽曲の制作を依頼したときの依頼費用や楽曲データの修正を依頼する際の追加費用の課金処理方法について図13を参照して説明する。

【0096】

先ず、ステップS81において、サーバ装置30は、アーティストのオーディションへの参加費用や視聴者がアーティストに楽曲の制作を依頼する際の依頼費用やアーティストに修正を所定回数以上行う際の追加費用に基づいて記憶部31に設けられたデータベースを更新する。すなわち、サーバ装置30は、アーティストがオーディションに参加したとき、アーティストからの入金をサーバ装置30の主催者に割り当てる。また、視聴者がアーティストに楽曲作を依頼したときの入金や視聴者が楽曲の修正を依頼したときの入金をサーバ装置30の主催者とアーティストに分配する。

【0097】

ステップS82において、サーバ装置30は、課金サーバ装置60に、サーバIDと、アーティスト及び視聴者の口座へのアクセス要求を専用線3を介して送信する。

【0098】

アクセス要求受信待機状態にある課金サーバ装置60は、ステップS83において、サーバ装置30よりサーバIDと、アーティスト及び視聴者の口座へのアクセス要求を受信すると、ステップS84において、課金サーバ装置60は、サーバIDにより認証処理を行う。

【0099】

ここで、予め視聴者及びアーティストが本システムのサービス用に銀行口座を指定しており、この銀行口座指定処理により課金サーバ装置60には、本システムのサーバIDと、視聴者口座用鍵及びアーティスト口座用鍵とが対応して記憶されている。したがって、課金サーバ装置60は、サーバ装置30より受信したサーバIDと記憶部63に記憶しているサーバIDとを照合することにより認証を行う。そして、課金サーバ装置60は、認証を取ることができたとき、ステップS85に進み、認証を取ることができなかつたとき、ステップS86に進み、非認証信号をサーバ装置30に送信する。サーバ装置30は、非認証信号を受信したとき、処理を終了する。

【0100】

ステップS85において、課金サーバ装置60は、視聴者口座用鍵とアーティスト口座用鍵をサーバ装置30に送信する。サーバ装置30は、ステップS87において、課金サーバ装置60より視聴者口座用鍵及びアーティスト口座用鍵を受信すると、ステップS88において、サーバ装置30は、視聴者口座用鍵、アーティスト口座用鍵、予めサーバ装置30に記憶されているサーバ口座用鍵、サーバ装置30の利益データ、アーティストの支払いデータ若しくは利益データ、視聴者の支払いデータ等を課金サーバ装置60に送信する。そして、サーバ装置30は、送信完了すると処理を終了する。また、サーバ装置30は、ステップS87において、これらのデータを受信しなかつたとき、ステップS89で例えばインターネット2から接続を解除する。

【0101】

視聴者及びアーティスト口座用鍵等の受信待機状態にある課金サーバ装置60は、ステップS90で、サーバ装置30からのデータを受信すると、ステップS91において、記憶部63に記憶されているデータベースの更新処理を行う。

【0102】

具体的に、課金サーバ装置60は、視聴者口座用鍵により視聴者口座管理データにアクセスし、支払いデータに基づいて視聴者口座管理データの日付、出入履歴、残金を更新する。これと共に、課金サーバ装置60は、アーティスト口座用鍵によりアーティスト口座管理データにアクセスし、視聴者からの楽曲の依頼のあったアーティスト口座管理データの日付、出入履歴、残金を更新する。

【0103】

また、アーティストがオーディションに参加したときには、課金サーバ装置60は、アーティスト口座用鍵によりアーティスト口座管理データにアクセスし、参加費用に基づいてアーティスト口座管理データの日付、出入履歴、残金を更新する。

【0104】

更に、課金サーバ装置60は、サーバ口座用鍵によりサーバ口座管理データにアクセスし、サーバ利益に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

【0105】

口座管理データの更新に基づいて課金サーバ装置60は、ステップS92において、銀行IDの銀行口座に対する決済処理を銀行センタ70と送受信することにより自動的に行う。すなわち、口座管理データの更新は、そのまま銀行口座データの更新に反映される。そして、この口座管理データの更新が完了すると、課金サーバ装置60は、処理を終了する。

【0106】

以上のようなデータ送受信システムによれば、視聴者は、通常のコンピュータとほぼ同様な装置を所有することによって、アーティストに容易に楽曲の制作依頼を行うことができ、また、アーティストも通常のコンピュータとほぼ同様な装置を所有することによって、視聴者から楽曲の依頼を受け利益を得ることができる。また、視聴者がアーティストに楽曲を依頼する際には、視聴者端末装置40でホームページにアクセスし、アーティストが制作した詞を見て、また、曲を試聴してから、アーティストを選択することができることから、自分好みにあったアーティストに楽曲の制作を依頼することができる。また、このデータ送受信

システムでは、作曲は得意だが作詞が不得意なアーティストや作詞が得意だが作曲が不得意のアーティスト等楽曲を制作するのに総合的な能力を有しないアーティストであっても容易に参加することができる。また、特定のレコード会社や音楽事務所と契約をできない無名なアーティストやアマチュアのアーティストであっても、容易に本システムに参加することができる。

【0107】

ところで、上述したアーティスト端末装置10、サーバ装置30、視聴者端末装置40は、通常のコンピュータで構成されており、上述した一連の処理を実行するには、上記一連の処理を実行するためのコンピュータプログラムを各装置にインストールすればよい。すなわち、各装置には、各処理を実行するためのコンピュータプログラムが記録された光ディスク、光磁気ディスク、磁気ディスク、半導体メモリを用いるICカード等の外部記憶装置をドライブ21, 37, 51に装着し、これらコンピュータプログラムは、ドライブ21, 37, 51を駆動することによって、外部記憶装置から読み出され、記憶装置であるHDD11, 31, 41にインストールされる。また、このコンピュータプログラムは、インターネット2、LAN (local area network) や衛星を介して各装置にインストールすることもできる。

【0108】

また、アーティストの制作したコンテンツをインターネット2を介して送受信する際には、ATRAC3 (Adaptive Transform Acoustic Coding 3: 商標)、MPEG-2AAC (Motion Picture Expert Group 2 Advanced Audio Coding: 商標)、MP3 (MPEG-1 Audio Layer3: 商標)、TwinkVQ (Transform-Domain Weighted Interleave Vector Quantization: 商標)、MS Audio (WMA: Windows Media Audio: 商標)、Ogg Vorbis (商標) 等の方式でデータを圧縮することで円滑にデータの送受信を行うことができる。

【0109】

以上のデータ送受信システム1について、楽曲データをコンテンツとして取り扱う場合について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、絵画、写真、映画、ゲーム等を取り扱うようにしてもよい。映画、ゲーム等の動画をコ

ンテンツとして取り扱うときには、MPEG4、MPEG7等の方式でデータを圧縮することで円滑にデータの送受信を行うことができる。

【0110】

【発明の効果】

本発明によれば、利用者は、コンテンツの情報提供者に容易にコンテンツの制作依頼を行うことができ、また、コンテンツの提供者であるアーティストも、利用者からコンテンツの依頼を受け利益を得ることができる。また、利用者が情報提供者にコンテンツの制作を依頼する際には、第2の端末装置でサーバ装置にアクセスし、情報提供者が制作したコンテンツを見てから情報提供者を選択することができることから、自分好みにあった情報提供者にコンテンツの制作を依頼することができる。無名なアーティストやアマチュアのアーティストであっても、容易に本システムに容易に参加することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したデータ送受信システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図2】

オーディションの手順を説明するためのフローチャートである。

【図3】

オーディションの開催を告知するホームページを説明するための図である。

【図4】

オーディションの合格発表を説明するための図である。

【図5】

アーティストへの依頼料金を決める手順を説明するためのフローチャートである。

【図6】

視聴者がアーティストに楽曲を依頼する際にアクセスするホームページを説明するためのフローチャートである。

【図7】

アーティストへの依頼料金を決定する方法を説明する図である。

【図8】

視聴者がアーティストに楽曲の制作を依頼し、制作された楽曲が納品されるまでの手順を説明するための図である。

【図9】

視聴者が複数人のアーティストに楽曲を依頼したときの依頼料金を説明するための図である。

【図10】

視聴者が一人のアーティストに楽曲を依頼したときの依頼料金を説明するための図である。

【図11】

視聴者がアーティストに楽曲の制作を依頼する際に記入する楽曲制作依頼票を説明するための図である。

【図12】

視聴者が納品された楽曲データの修正をアーティストに依頼する手順を説明するためのフローチャートである。

【図13】

課金処理方法を説明するためのフローチャートである。

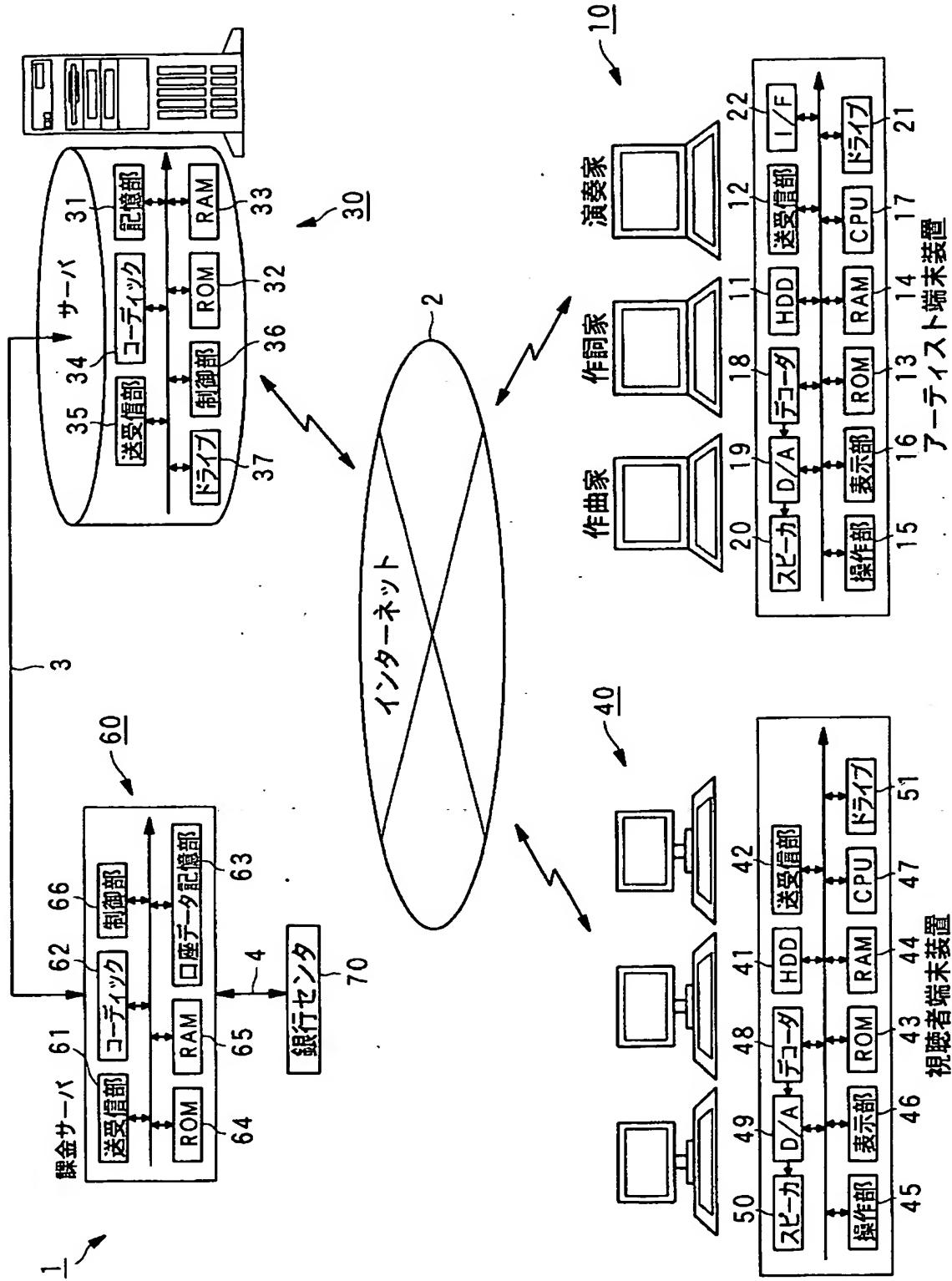
【符号の説明】

- 1 データ送受信システム、2 インターネット、10 アーティスト端末装置
- 、30 サーバ装置、40 視聴者端末装置、60 課金サーバ装置

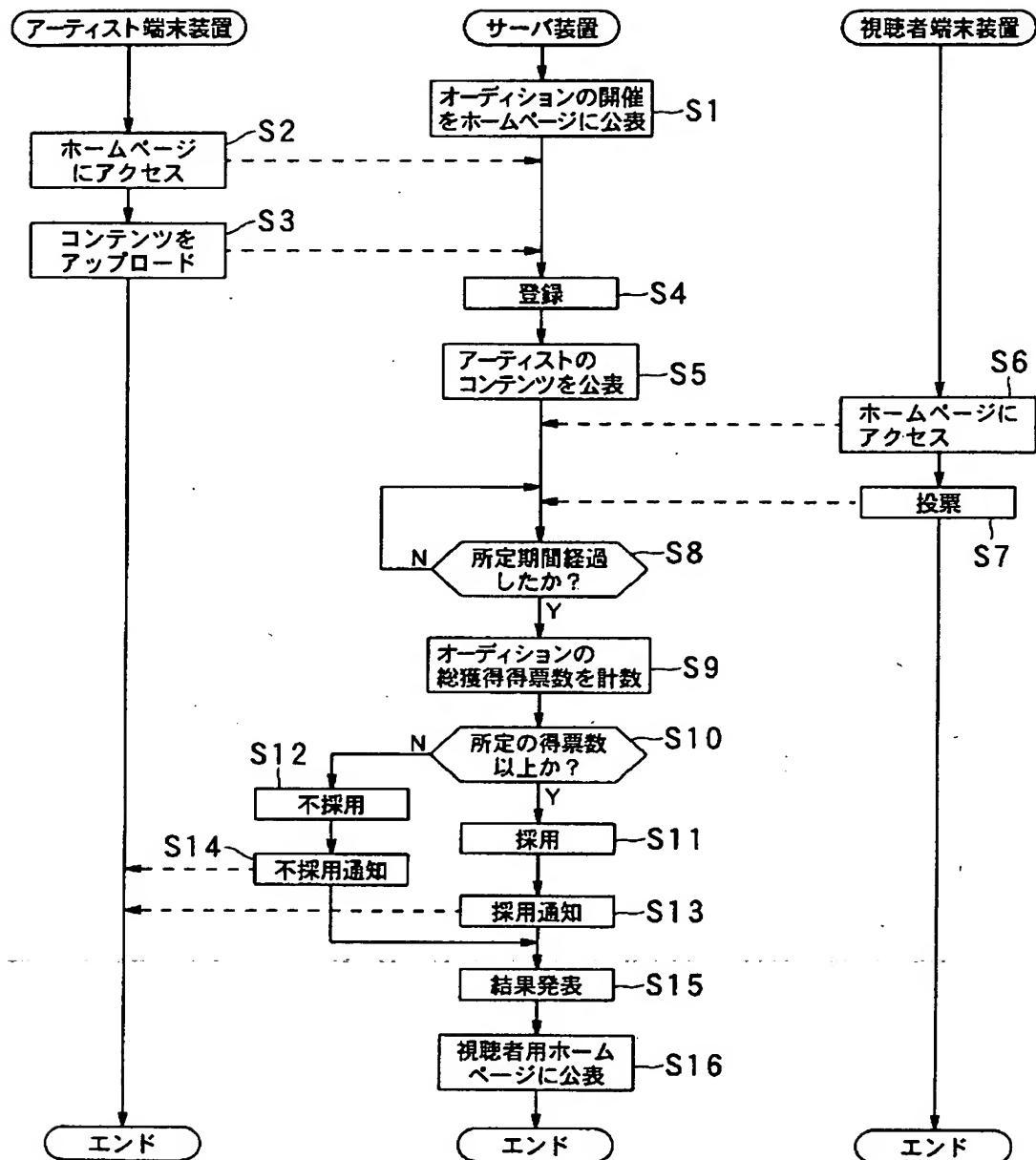
【書類名】

図面

【図1】



【図2】



オーディション開催

【図3】

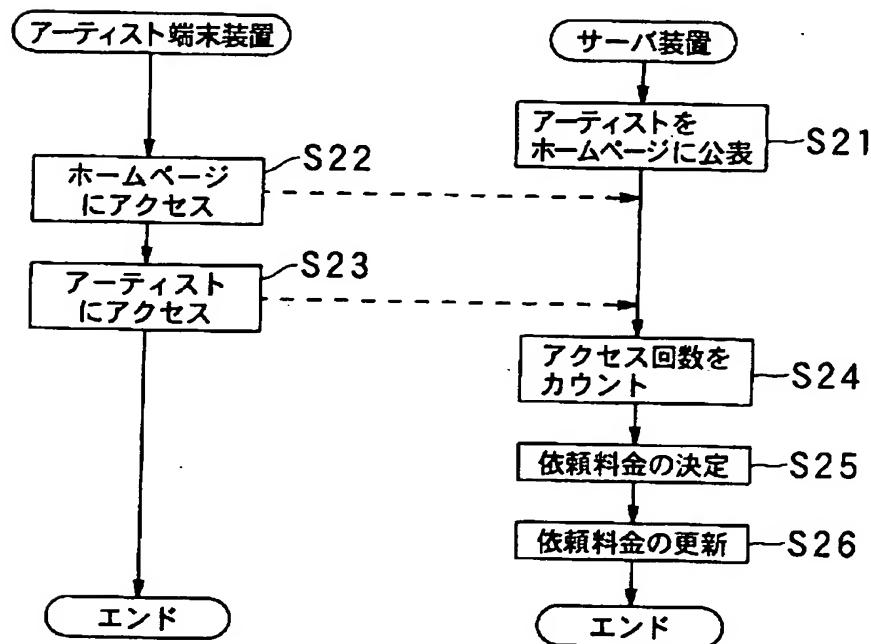
作詞の部		作曲の部		演奏の部		楽曲の部	
氏名	コメント	氏名	コメント	氏名	コメント	氏名	コメント
A	恋愛の詩が得意です	D	明るい曲が得意です	G	...	J	...
B	...	E	...	H	...	K	...
C	...	F	...	I	...	L	...
81～エントリ印	82	81～エントリ印	82	81～エントリ印	82	81～エントリ印	82

【図4】

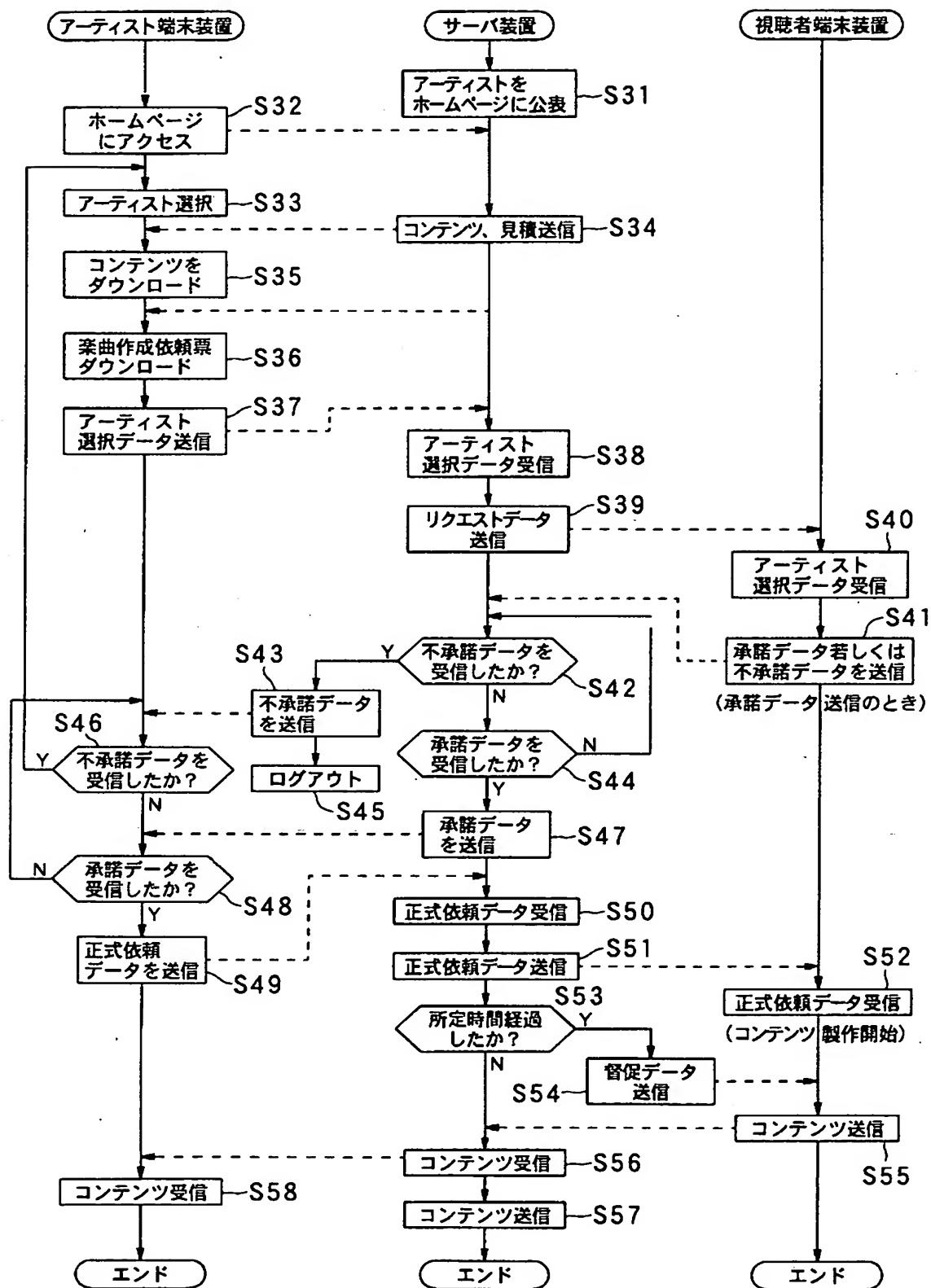
合格発表

作詞の部		作曲の部		演奏の部		楽曲の部	
氏名	コメント	氏名	コメント	氏名	コメント	氏名	コメント
A	恋愛の詩が得意です	D	明るい曲が得意です	H	...	J	...
C	...	E	...	I	...	L	...

【図5】



【図6】



〔図7〕

料 金	¥5,000	¥7,000	¥9,000
アクセス件数	1~50人	51~100人	101~150人
アーティストAさん (提示料金¥7,000)			
アーティストBさん (提示料金¥9,000)			
アーティストCさん (提示料金¥10,000)			

(〇月△日現在)

ホームページ

【図8】

作詞の部				作曲の部				演奏の部				楽曲の部			
氏名	コメント	金額	氏名	コメント	金額	氏名	コメント	金額	氏名	コメント	金額	氏名	コメント	金額	
A	恋愛の詩意です	5000	D	恋愛の詩意です	9000	H	選択	9000	J	選択	5000	選択	選択	選択	
C	恋愛の詩意です	7000	E	恋愛の詩意です	5000	I	選択	7000	L	選択	7000	選択	選択	選択	
		81			81			81			81				81

【図9】

部門	作詞の部	作曲の部	演奏の部	合計
アーティスト	A	D	H	
金額	5000	9000	9000	23000

【図10】

部門	楽曲の部	合計
アーティスト	J	
金額	5000	5000

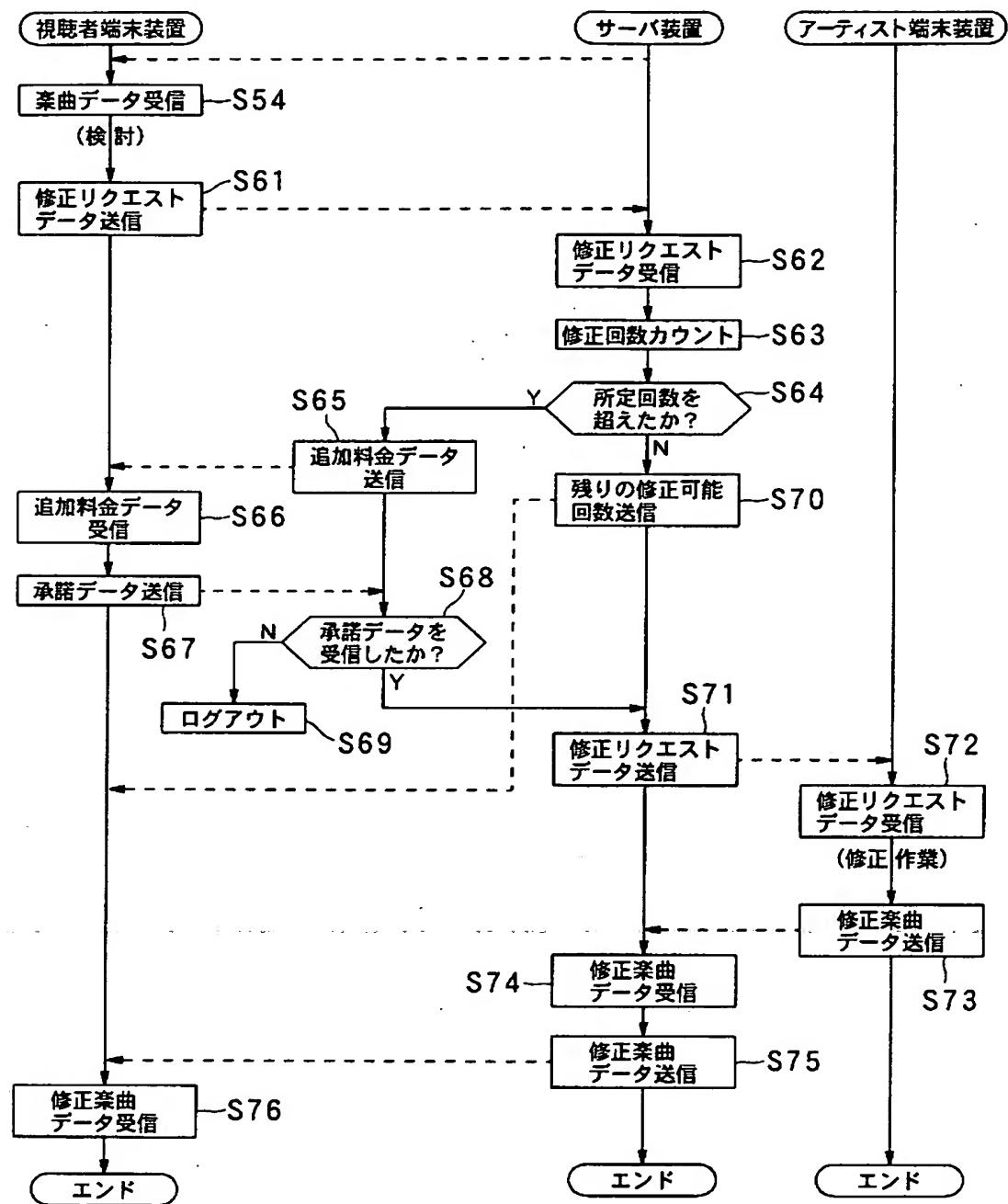
【図11】

楽曲作成依頼票

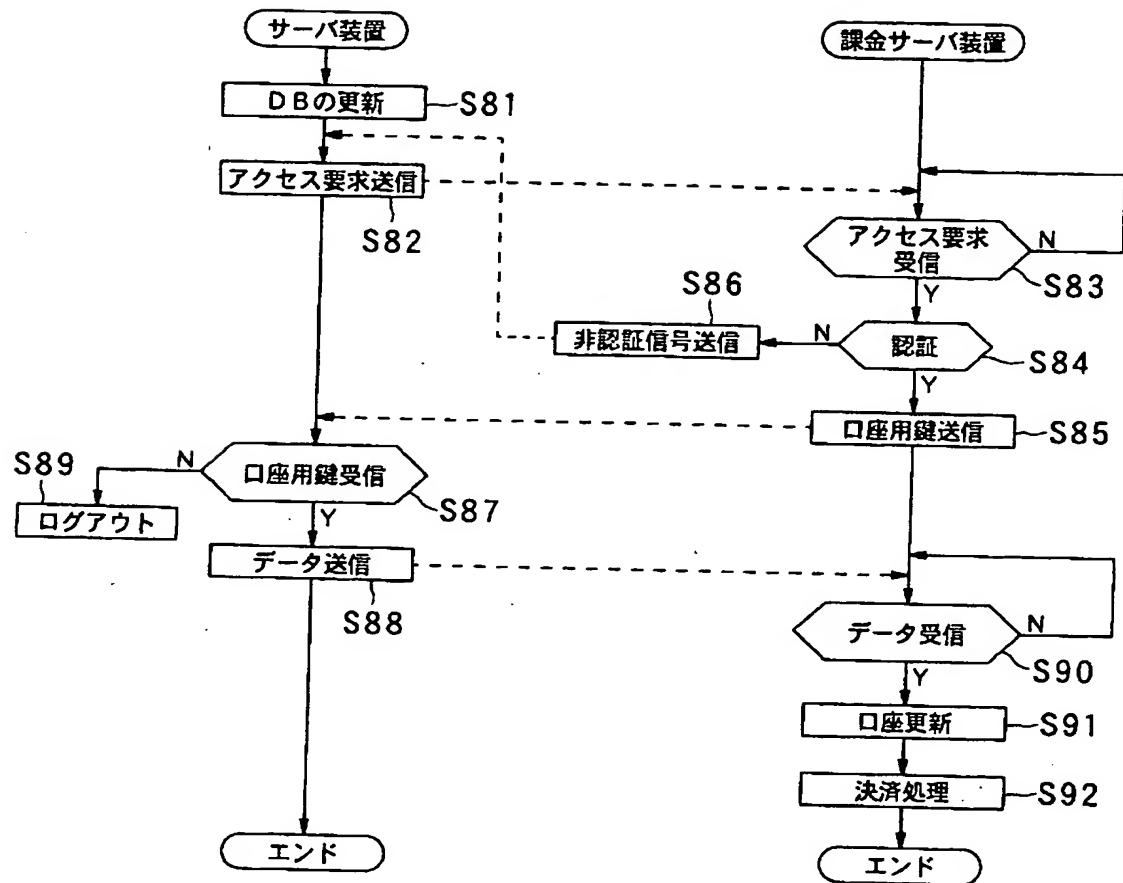
依頼するアーティスト名	...
お名前	
住所	
電話	
電子メール	
年齢	
ご職業	
楽曲完成希望日	
依頼料金	...
歌詞に含めて欲しい思いで	
歌詞に入れて欲しいキーワード	
アーティストへのメッセージ	

84 ← 送信

【図12】



【図13】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワークを利用して、自分の好みのアーティストに容易に作曲等コンテンツの制作を依頼することができる。

【解決手段】 視聴者がホームページに掲載されたアーティストの中から少なくとも一人のアーティストを選択し、このアーティストにサーバ装置30を介してリクエストデータを送信し、コンテンツの制作を依頼し、リクエストデータに応じたコンテンツをサーバ装置30を介して受け取る。

【選択図】 図1

職権訂正履歴（職権訂正）

特許出願の番号	特願2000-326116
受付番号	50001381144
書類名	特許願
担当官	喜多川 哲次 1804
作成日	平成12年10月31日

<訂正内容1>

訂正ドキュメント

明細書

訂正原因

職権による訂正

訂正メモ

【特許請求の範囲】が正確に記載されていないため、訂正します。

訂正前内容

9 【請求項22】 上記サーバ装置が上記第2の端末装置によって選択された

情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意する

かどうかのデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置が、同意するとき、同意データをサーバ装置に送信するス

テップと、

上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、サーバ装置がこの同意デ

ータを上記第2の端末装置に送信するステップを有することを特徴とする請求項

14 記載のデータ送受信方法。

【請求項23】 上記第1の端末装置が、上記サーバ装置に情報提供者の口座

識

訂正後内容

ることを特徴とする請求項20記載のデータ送受信方法。

【請求項22】 上記サーバ装置が上記第2の端末装置によって選択された

情報提供者の上記第1の端末装置に、上記第2の端末装置からの依頼に同意する

次頁有

職権訂正履歴（職権訂正）（続き）

かどうかのデータを送信するステップと、

上記第1の端末装置が、同意するとき、同意データをサーバ装置に送信するステップと、

上記第1の端末装置より同意データを受信したとき、サーバ装置がこの同意デ

出願人履歴情報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏名 ソニー株式会社